資料５

施工プロセス検査（出来形）チェックシート

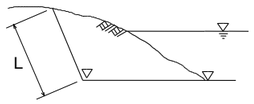
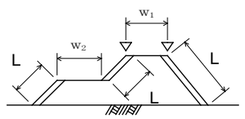
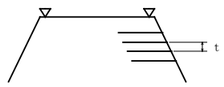
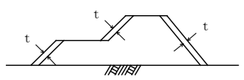
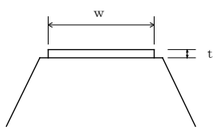
施工プロセス検査（出来形） チェックシート　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は掘削部の両端で測定。		基準高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長L	L＜5m	−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							L≧5m	法長−4%	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	3		盛土工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は各法肩で測定。		基準高 ▽		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長L	L＜5m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							L≧5m	法長−2%	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w1，w2		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	4		盛土補強工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						控え長さ		設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5		法面整形工（盛土部）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、法の中央で測定。※土羽打ちのある場合に適用。		厚さ t		※−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	6		堤防天端工	幅は、施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは、施工延長200mにつき1箇所、200m以下は2箇所、中央で測定。		厚さ t	t＜15cm	−25	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							t≧15cm	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

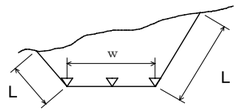
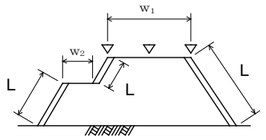
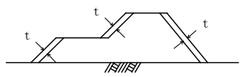
施工プロセス検査（出来形） チェックシート　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
4 道路土工	2		掘削工	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		基準高 ▽		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						法長L	L＜5m	-200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						法長L	L≧5m	法長-4%	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w		-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3.4		路体盛土工 路床盛土工	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		基準高 ▽		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						法長L	L＜5m	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						法長L	L≧5m	法長-2%	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w1，w2		-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	5		法面整形工 （盛土部）	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		厚　さ t		※-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

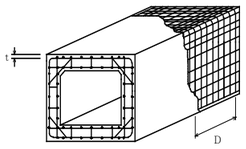
施工プロセス検査（出来形） チェックシート　　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：無筋・鉄筋コンクリート】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
7 鉄筋工	4		組立て	d=D/(n-1) D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径 工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（構造性能照査編9.2）参照 注1）重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。 注2）橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、第3編3－4－12床版・横組工を適用する。 注3）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工）および重要構造物である内空断面積25m2以上のボックスカルバート（工場製作のﾌﾟﾚｷｬｽﾄ製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」を適用する。		平均間隔d	±φ	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						かぶり t	±φかつ最小かぶり以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

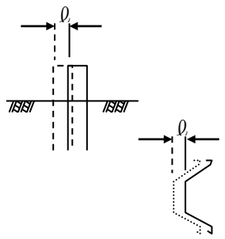
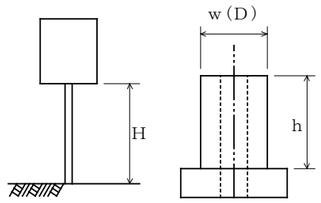
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕（鋼矢板）（軽量鋼矢板）（コンクリート矢板）（広幅鋼矢板）（可とう鋼矢板）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。変位は、施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						根入長		設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						変位 ℓ		100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	5		縁石工（縁石・アスカーブ）	1箇所／1施工箇所		延長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		小型標識工	1箇所／1基		設置高さH		設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				基礎1基毎		基礎	幅 w （D）	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							高さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							根入れ長	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

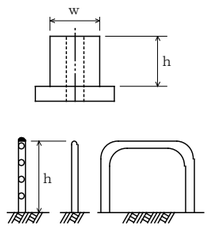
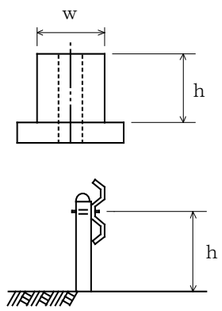
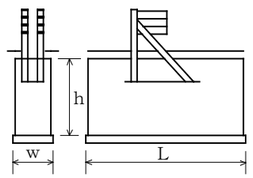
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	7		防止柵工（立入防止柵）（転落（横断）防止柵）（車止めポスト）	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1箇所測定。		基礎	幅　w	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						基礎	高　さ h	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1箇所／1施工箇所		パイプ取付高 H		+30 −20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	8	1	路側防護柵工（ガードレール）	1箇所／施工延長40m 40m以下のものは、2箇所／1施工箇所。		基礎	幅　w	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						基礎	高　さ h	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1箇所／1施工箇所		ビーム取付高 H		+30 −20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	路側防護柵工（ガードケーブル）	1箇所／1基礎毎		基礎	幅　w	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						基礎	高　さ h	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						基礎	延　長 L	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1箇所／1施工箇所		ケーブル取付高 H		+30 −20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	9		区画線工	各線種毎に、1箇所テストピースにより測定。		厚　さ t（溶融式のみ）		設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅　w		設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

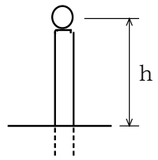
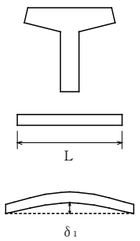
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	10		道路付属物工（視線誘導標）（距離標）	1箇所／10本 10本以下の場合は、2箇所測定。		高　さ h	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	11		コンクリート面塗装工	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要性を求め、塗付作業の開始前に搬入量（充缶数）と、塗付作業終了時に使用量（空缶数）を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500m2とする。		塗装使用量	鋼道路橋塗装・腐食便覧Ⅱ-74「表-Ⅱ.5.5各塗料の標準使用量と標準塗膜」の標準使用量以上。	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	12	1	プレテンション桁製作工（購入工）（けた橋）	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS製品の場合は、JIS認定工場の成績表にかえることができる。 JIS製品以外はJIS製品に準ずる。		桁長　L（m）	±L／1000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						断面の外形寸法	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						橋 桁 の そ り δ_1	±8	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						横方向の曲がり δ_2	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

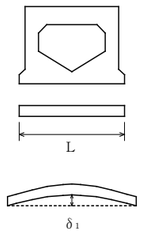
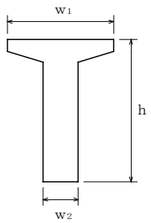
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	12	2	プレテンション桁製作工（購入工）（スラブ桁）	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS製品の場合は、JIS認定工場の成績表にかえることができる。 JIS製品以外はJIS製品に準ずる。		桁長 L（m）	±10…L≦10m ±L/1000…L＞10m	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						断面の外形寸法	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						橋 桁 の そ り δ_1	±8	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						横方向の曲がり δ_2	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	13	1	ポストテンション桁製作工	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 JIS製品を使用する場合はJIS認定工場の成績表に替えることができる。 ℓ:支間長（m）		幅（上） w_1	+10 −5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅（下） w_2	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h	＋10 −5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						桁　長 ℓ 支間長	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ−5） かつ −30mm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						横方向最大タワミ	0.8ℓ	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	プレキャストセグメント製作工（購入工）	桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。		桁　長 ℓ	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						断面の外形寸法（mm）	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	14		プレキャストセグメント主桁組立工	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ:支間長（m）		桁　長 ℓ 支間長	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ−5） かつ −30mm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						横方向最大タワミ	0.8ℓ	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

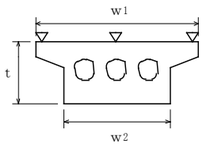
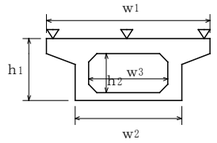
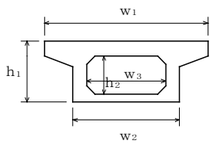
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	15		PCホロースラブ製作工	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-1床版・横組工に準ずる。 ℓ：支間長（m）		基　準　高　▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w_1，w_2	－5～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	－10～＋20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						桁　長 ℓ	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ－5） かつ －30mm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	16	1	PC箱桁製作工	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-1床版・横組工に準ずる。 ℓ：支間長（m）		基　準　高　▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅（上）　w_1	－5～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅（下）　w_2	－5～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内 空 幅　w_3	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h_1	＋10 －5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内空高さ　h_2	＋10 －5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						桁　長 ℓ	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ－5） かつ －30mm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	16	2	PC押出し箱桁製作工	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-1床版・横組工に準ずる。 ℓ：支間長（m）		幅（上）　w_1	－5～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅（下）　w_2	－5～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内 空 幅　w_3	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h_1	+10 -5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内空高さ　h_2	＋10 －5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						桁　長 ℓ	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ－5） かつ －30mm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

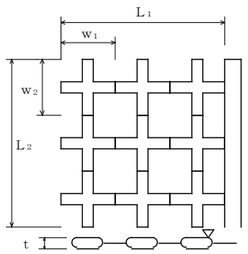
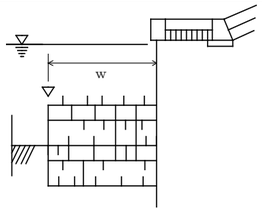
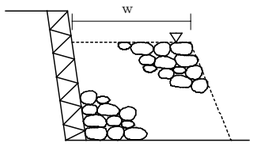
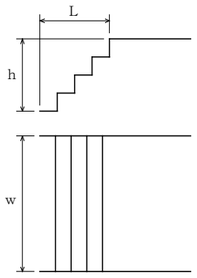
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	17		根固めブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　積	±100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							乱　積	±t/2	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				幅、厚さは40個につき1箇所測定。		厚　さ t		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅W1,W2	層　積	-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							乱　積	―t/2	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1施工箇所毎		延長L1,L2	層　積	-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							乱　積	―t/2	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	18		沈床工	1組毎		基準高▽		±150	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅　w		±300	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延　長 L		-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	19		捨石工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽		-100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅　w		-100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延　長 L		-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	22		階段工	1回／1施工箇所		幅　w		-30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高　さ h		-30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長　さ L		-30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						段　数		±0段	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

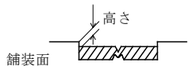
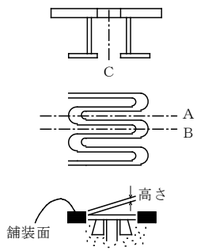
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	24	1	伸縮装置工（ゴムジョイント）	両端及び中央部付近を測定。		据付け高さ		舗装面に対し 0～－2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						表面の凹凸		3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						仕上げ高さ		舗装面に対し 0～－2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	伸縮装置工（鋼製フィンガージョイント）	高さについては車道端部、中央部各3点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部の計3点。		高さ	据付け高さ	±3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							車線方向各点誤差の相対差	3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						表面の凹凸		3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						歯型板面の歯咬み合い部の高低差		2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						縦方向間隔		±2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						横方向間隔		±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						仕上げ高さ		舗装面に対し 0～－2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

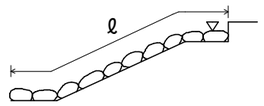
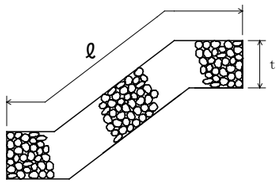
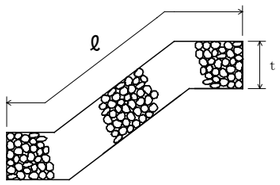
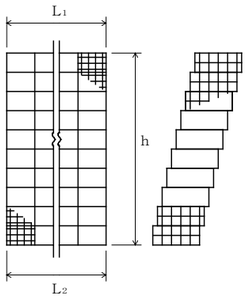
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	26	1	多自然型護岸工（巨石張り、巨石積み）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±500	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長 ℓ		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	多自然型護岸工（かごマット）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−0.2t	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	27	1	羽口工（じゃかご）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ℓ≧3m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	羽口工（ふとんかご、かご枠）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高さ h		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L_1, L_2		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

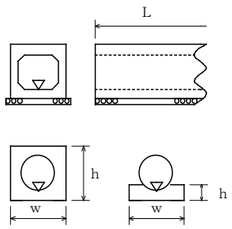
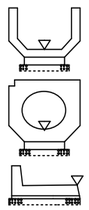
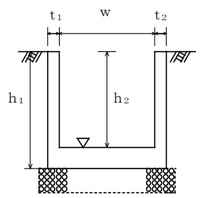
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	28		プレキャストカルバート工（プレキャストボックスエ）（プレキャストパイプエ）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ※印は、現場打部分のある場合。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※幅　w	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※高　さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	29	1	側溝工（プレキャストU型側溝）（L型側溝工）（自由勾配側溝）（管渠）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1箇所／1施工箇所		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	現場打水路工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚 さ t_1, t_2	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高 さ h_1, h_2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

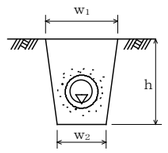
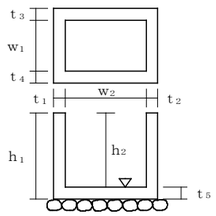
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 共通的工種	29	3	暗渠工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。 延長40m（又は50m）以下のものは1施工につき2箇所。 （なお、製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による。）		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w_1, w_2	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						深　さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	30		集水桝工	1箇所毎 ※は、現場打部分のある場合		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※厚さ t_1～t_5	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※幅　w_1, w_2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※高さ h_1, h_2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	31		現場塗装工	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		塗　膜　厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

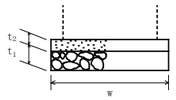
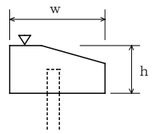
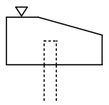
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
4 基礎工	1		一般事項 （切込砂利） （砕石基礎工） （割ぐり石基礎工） （均しコンクリート）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　w	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t1 ，t2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	各構造物の規格値による	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3	1	基礎工（護岸） （現場打）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

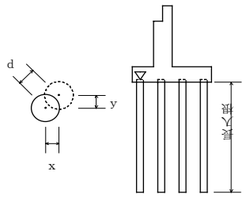
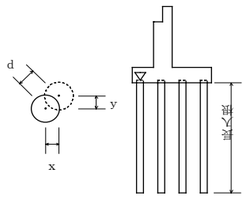
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
	4	1	既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						根　入　長	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						偏 心 量 d	D/4以内 かつ100以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						傾　斜	1／100以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	既製杭工 （鋼管ソイルセメント杭）	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						根　入　長	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						偏 心 量 d	100以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						傾　斜	1／100以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						杭　径	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

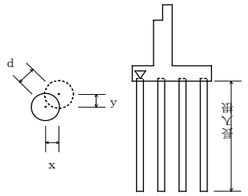
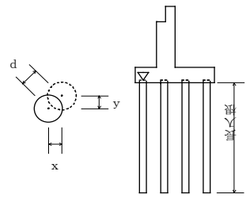
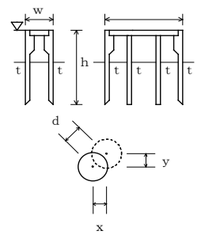
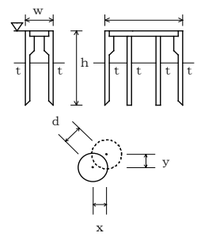
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 基礎工	5		場所打杭工	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						根入長	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏心量 d	100以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						傾斜	1／100以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						杭径	設計値（公称径）-30以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	6		深礎工	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						根入長	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏心量 d	150以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						傾斜	1／50以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	7		オープンケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの長さ ℓ	-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの幅 w	-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの高さ h	-100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの壁厚 t	-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏心量 d	300以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	8		ニューマチックケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの長さ ℓ	-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの幅 w	-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの高さ h	-100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ケーソンの壁厚 t	-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏心量 d	300以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

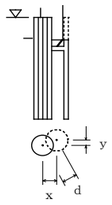
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基 準 高 ▽	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						根　入　長	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						偏 心 量 d	300以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

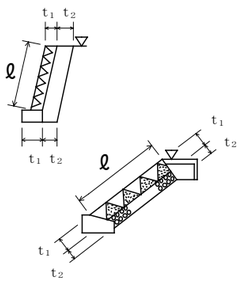
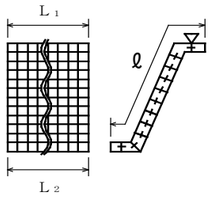
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工（コンクリートブロック積）（コンクリートブロック張り）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。		基 準 高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ℓ≧3m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ（ブロック積張）t1		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ（裏込）t2		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延　　長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	コンクリートブロック工（連節ブロック張り）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法　　長 ℓ		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L1,L2		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

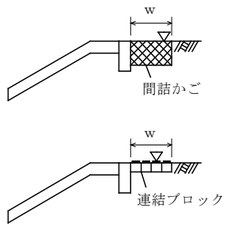
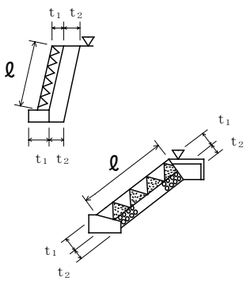
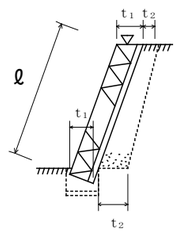
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w		−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延 長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	4		緑化ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。		基 準 高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ℓ≧3m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ(ブロック)t1		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ(裏込)t2		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延 長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5		石積（張）工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。		基 準 高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ℓ≧3m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ(石積・張)t1		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ(裏込)t2		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延 長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない	基準高▽	±40	±50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	−45	−45	−15	−15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	アスファルト舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	−25	−30	−8	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		3	アスファルト舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない	厚　さ	−25	−30	−8	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		4	アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−15	−20	−5	−7	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	-9	-12	-3	-4	／ □ （　）	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ （　）	
		6	アスファルト舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-7	-9	-2	-3	／ □ （　）	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ （　）	
						平坦性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ （σ）2.4mm以下 直読式 （足付き） （σ）1.75mm以下		／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値				上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
節	条	枝番					個々の測定値（X）		10個の測定値の平均（X10）									
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下								
6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	基準高▽	±40	±50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	−45	−45	−15	−15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	半たわみ性舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	−25	−30	−8	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値				上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
							個々の測定値（X）		10個の測定値の平均（X10）									
節	条	枝番					中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下								
6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	−25	−30	−8	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		4	半たわみ性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−15	−20	−5	−7	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50	−50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	-9	-12	-3	-4	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		6	半たわみ性舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-7	-9	-2	-3	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下		／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値				上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
							個々の測定値（X）		10個の測定値の平均（X10）									
節	条	枝番					中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下								
6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	基準高▽	±40	±50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	-45	-45	-15	-15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	-50	-50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	排水性舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	-25	-30	-8	-10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	-50	-50	—	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	-25	-30	-8	-10	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-50	-50	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		4	排水性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-15	-20	-5	-7	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-50	-50	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		5	排水性舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-9	-12	-3	-4	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		6	排水性舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-7	-9	-2	-3	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下		／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	-15	-20	-5	-7	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-50	-50	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		2	グースアスファルト舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-9	-12	-3	-4	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
		3	グースアスファルト舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	-7	-9	-2	-3	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						幅	-25	-25	—	—	／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下		／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( ) ／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	小規模以下	10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工（路盤工）	基準高は片側延長40m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。 ※歩道舗装に適用する。		基準高▽	±50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	t＜15cm	-30	-10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							t≧15cm	-45	-15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	-100		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	透水性舗装工（表層工）	幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所コアーを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。		厚 さ t	-9		-3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	-25		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	12	1	コンクリート舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	基準高▽	±40	±50	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	-45		-15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	-50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	-25	-30	-8	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	-50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によ	厚　さ	−25	−30	−8	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	
		4	コンクリート舗装工（アスファルト中間層）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−9	−12	−3	／ □ （　）	
						幅	−25		—	／ □ （　）	
		5	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	−10		−3.5	／ □ （　）	
						幅	−25		—	／ □ （　）	
						平坦性	—		コンクリートの硬化後3mプロフィルメーターにより機械舗設の場合 （σ）2.4mm以下 人力舗設の場合 （σ）3mm以下	／ □ （　）	
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			／ □ （　）	
		6	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）下層路盤工	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。		基準高▽	±40	±50	—	／ □ （　）	
						厚　さ	−45		−15	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚 さ	−25	−30	−8	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		8	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）セメント（石灰・瀝青）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは、掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚 さ	−25	−30	−8	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		9	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）アスファルト中間層	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚 さ	−9	−12	−3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−25		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		10	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。		厚 さ	−15		−4.5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−35		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						平坦性	—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより（σ）2.4mm以下。	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工（下層路盤工）	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高▽	±40	±50	—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚 さ	−45		−15	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		2	薄層カラー舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚 さ	−25	−30	−8	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		3	薄層カラー舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	厚 さ	−25	−30	−8	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		4	薄層カラー舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚 さ	−15	−20	−5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−50		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
		5	薄層カラー舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚 さ	−9	−12	−3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅	−25		—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工（下層路盤工）	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高▽	±40	±50	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	−45		−15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	ブロック舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	−25	−30	−8	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		3	ブロック舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によ	厚　さ	−25	−30	−8	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		4	ブロック舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−15	−20	−5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−50		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		5	ブロック舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−9	−12	−3	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	−25		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

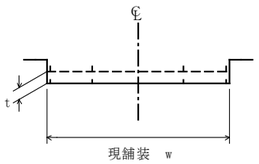
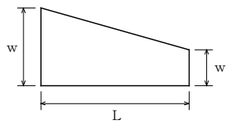
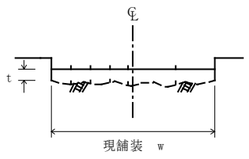
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 一般舗装工	15		路面切削工	厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることができる。 測定方法は自動横断測定法によることができる。		厚 さ t		−7	−2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w		−25	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	16		舗装打換え工	各層毎1箇所／1施工箇所		路盤工	幅 w	−50		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							延長L	−100		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							厚さt	該当工種		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						舗設工	幅 w	−25		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							延長L	−100		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							厚さt	該当工種		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	17		オーバーレイ工	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長80m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることができる。		厚 さ t		−9		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w		−25		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延 長 L		−100		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						平 坦 性		—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下　直読式(足付き)(σ)1.75mm以下	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

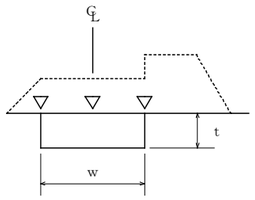
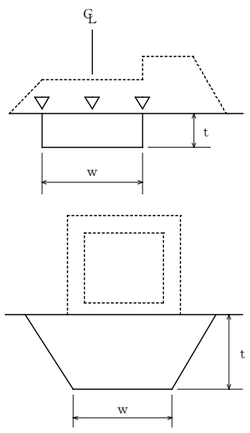
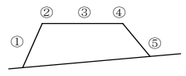
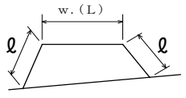
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
7 地盤改良工	2		路床安定処理工	延長40m毎に1箇所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。		基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						施工厚さ t	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延 長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3		置換工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。		基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						置換厚さ t	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延 長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	4		表層安定処理工 （サンドマット海上）	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基 準 高 ▽	特記仕様書に明示	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						法 長	−500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				w.（L）は施工延長40mにつき1箇所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 （L）はセンターライン及び表裏法肩で行う。		天 端 幅 w	−300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端延長 L	−500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

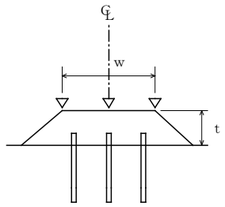
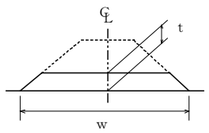
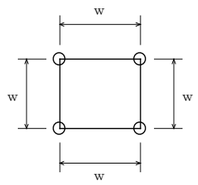
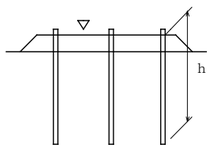
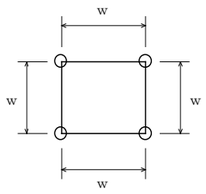
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
7 地盤改良工	5		パイルネット工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		サンドマット工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		施工厚さ　t	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7・8		バーチカルドレーン工（サンドドレーン工）（ペーパードレーン工）（袋詰式サンドドレーン工） 締固め改良工（サンドコンパクションパイル工）	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		位置・間隔 w	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						杭　径 D	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全本数		打 込 長 さ h	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全本数 計器管理にかえることができる。		サンドドレーン、袋詰式サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの砂投入量	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					※余長は、適用除外										
	9		固結工（粉体噴射撹拌工）（高圧噴射撹拌工）（スラリー撹拌工）（生石灰パイル工）	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		基 準 高 ▽	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						位置・間隔w	D/4以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						杭　径 D	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全本数		深　度 ℓ	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

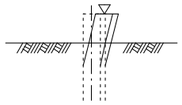
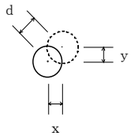
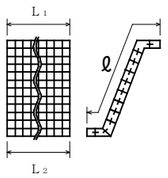
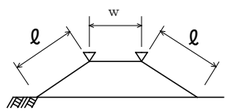
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
10 仮設工	5	1	土留・仮締切工（H鋼杭）（鋼矢板）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。（任意仮設は除く）		基 準 高 ▽	±100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						根　入　長	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5	2	土留・仮締切工（アンカー工）	全数（任意仮設は除く）	 $d=\sqrt{x^2+y^2}$	削 孔 深 さ ℓ	設計深さ以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						配 置 誤 差 d	100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5	3	土留・仮締切工（連節ブロック張り工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法　　長 ℓ	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1施工箇所毎		延長 L1 L2	−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5	4	土留・仮締切工（締切盛土）	施工延長50mにつき1箇所。延長50m以下のものは1施工箇所につき2箇所。（任意仮設は除く）		基 準 高 ▽	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天 端 幅 w	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						法　　長 ℓ	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

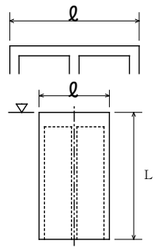
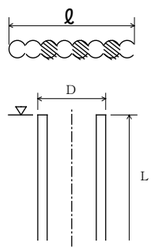
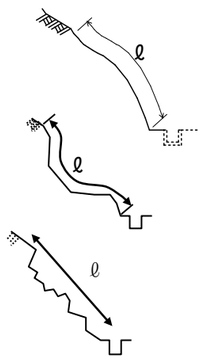
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
10 仮設工	5	5	土留・仮締切工（中詰盛土）	施工延長50mにつき1箇所。延長50m以下のものは、1施工箇所につき2箇所。（任意仮設は除く）		基準高 ▽		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	9		地中連続壁工（壁式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						連壁の長さ ℓ		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						変位		300	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						壁体長 L		-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	10		地中連続壁工（柱列式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。	 D:杭径	基準高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						連壁の長さ ℓ		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						変位		D/4以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						壁体長 L		-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	22		法面吹付工	施工延長40mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ	ℓ＜3m	-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ℓ≧3m	-100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		厚さ t	t＜5cm	-10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							t≧5cm	-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上		／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1施工箇所毎		延長 L		-200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支沓工）	製品全数を測定 ※1） 片面削り加工も含む。 ※2） ただし、ソールプレート接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。		上下部鋼構造物との接合用ボルト孔	孔の直径差		＋2 －0	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ									
								≦1,000mm	1以下	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
								センターボスを基準にした孔位置のずれ									
								＞1,000m	1．5以下	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						アンカーボルト用孔（鋳放し）	孔の直径	≦100mm	＋3 －1	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
								＞1000m	＋4 －2	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							孔の中心距離		JIS B 0403-95 CT13								
						センターボス	ボスの直径		＋0 －1	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							ボスの高さ		＋1 －0	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						上沓の橋軸及び直角方向の長さ寸法			JIS B 0403-95 CT13								
						全移動量ℓ	≦300mm		±2	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							＞300m		±ℓ/100	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						組立高さH	上・下面加工仕上げ		±3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							コンクリート構造用	H≦300mm	±3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
								H＞300m	(H/200+3)小数点以下切り捨て	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						普通寸法	鋳放し長さ寸法 ※1）、※2）		JIS B 0403-95 CT14	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							鋳放し肉厚寸法 ※1）		JIS B 0403-95 CT15	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							削り加工寸法		JIS B 0403-91 粗級	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							ガス切断寸法		JIS B 0417-79 B級	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

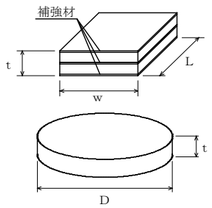
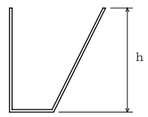
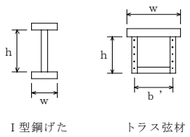
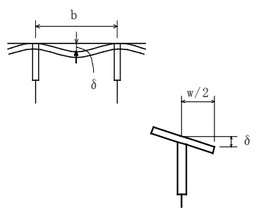
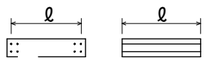
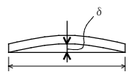
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
		2	鋳造費（大型ゴム支沓工）	製品全数を測定。 平面度：1個のゴム支沓の厚さ(t)の最大相対誤差		幅W長さL直径D	W、L、D≦500	0～＋5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							500＜W、L、D≦1500mm	0～＋1%	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							1500＜W、L、D	0～＋15	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さt	t≦20mm	±0.5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							20＜t≦160	±2.5%	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							160＜t	±4	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						平面度		1	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		3	仮設材製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・h≦10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								±4・・・・h＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		4	刃口金物製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		刃口高さh(m)		±2・・・・h≦0.5 ±3・・・・0.5＜h≦1.0 ±4・・・・1.0＜h≦2.0	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						外周長L(m)		±(10+L/10)	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3	1	桁製作工（仮組立による検査を実施する場合）（シュミレーション仮組立検査を行う場合）	主桁・主構 各支点及び各支点中央付近を測定。 床版など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 JIS製品を使用する場合はJIS認定工場の成績表にかえることができる。		部材精度	フランジ幅w(m) 腹板高　h(m) 腹板間隔b'(m)		±2・・・・・・・w≦0.5 ±3・・・・・・・0.5＜w≦1.0 ±4・・・・・・・1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)・・2.0＜w	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h：腹板高(mm) b：腹板又はリブの間隔(mm) w：フランジ幅(mm)			板の平面度δ(mm)	鋼桁及びトラス等の部材の腹板	h/250	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b/150	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							フランジの直角度δ(mm)		w/200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				原則として仮組立をしない状態の部材について、主要部材全数を測定。			部材長ℓ(m)	鋼桁	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								トラス、アーチなど	±2・・・・ℓ≦10 ±3・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				トラス・アーチ等 主要部材全数を測定 ℓ：部材長(mm)			圧縮材の曲がりδ(mm)		ℓ／1000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

※規格値のW，Lに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「板の平面度δ、フランジの直角度δ、圧縮材の曲がりδ」の規格値のh,b,w,ℓに代入する数値はmm単位の数値とする。

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

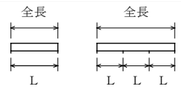
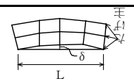
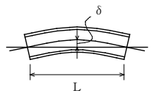
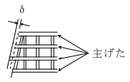
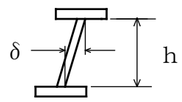
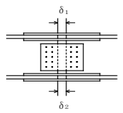
（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
	3	1	桁製作工 （仮組立による検査を実施する場合） （シュミレーション仮組立検査を行う場合）	主桁、主構全数を測定		仮組立精度	全長、支間長 L(m)	±(10+L/10)	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				各支点及び各支間中央付近を測定			主桁・主構の中心間距離 B(m)	±4・・・・・・・B≦2 ±(3+B/2)・・B＞2	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				トラス・アーチ等 両端部及び中心部を測定			主構の組立高さ h(m)	±5・・・・・・・・h≦5 ±(2.5+h/2)・・h＞5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				最も外側の主桁又は主構について支点及び支間中央の1点を測定 L：測線上(m)			主桁、主構の通りδ(mm)	5+L/5・・・・・・・・L≦100 25・・・・・・・・・・・L＞100	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				鋼桁等 各主桁について10～12m間隔を測定。 L:主桁の支間長(m) トラス・アーチ等 各主構の各格点を測定 L:主構の支間長(m)			主桁、主構のそり δ(mm)	-5～+5・・・・・・・・L≦20 -5～+10・・・・・・・・・・・・20＜L≦40 -5～+15・・・・・・・・・・・・40＜L≦80 -5～+25・・・・・・・・・・・・80＜L≦200	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				どちらか一方の主桁（主構）端を測定。			主桁、主構の橋端における出入り差δ(mm)	設計値 ±10	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				鋼桁等 各主桁の両端部を測定 h：主桁の高さ(mm) トラス・アーチ等 支点及び支間中央付近を測定。 h：主構の高さ(mm)			主桁、主構の鉛直度δ(mm)	3+h/1,000	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ1、δ2のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナスを認めない。			現場継手部のすき間 δ1、δ2(mm)	設計値±5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

※規格値のL,B,hに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「主げた、主構の鉛直度δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

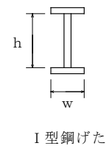
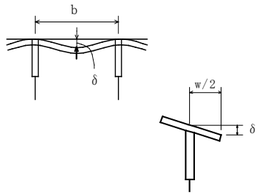
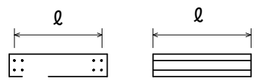
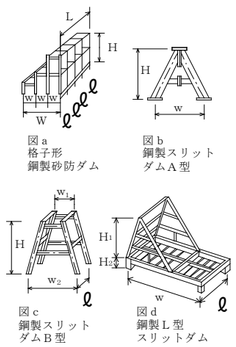
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
		2	桁製作工（仮組立による検査を実施しない場合）	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床版など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		部材精度	フランジ幅w(m) 腹板高 h(m) 腹板間隔b'(m)	±2・・・・・・・w≦0.5 ±3・・・・・・・0.5＜w≦1.0 ±4・・・・・・・1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)・・2.0＜w	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h:腹板高(mm) b:腹板又はリブの間隔(mm) w:フランジ幅(mm)			板の平面度δ(mm) 鋼桁等の部材の腹板	h/250	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							板の平面度δ(mm) 箱桁等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b/150	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							フランジの鉛直度δ(mm)	w/200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主要部材全数を測定。			部材長ℓ(m) 鋼桁	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							※規格値のw、ℓに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度δ、フランジの直角度δ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。									
		3	桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時）	全数を測定。			部材の水平度	10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							堤　長 L	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							堤　長 ℓ	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							堤　幅 W	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							堤　幅 w	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							高　さ H	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ベースプレートの高さ	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							本体の傾き	±H/500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	4		検査路製作	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

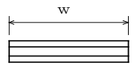
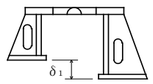
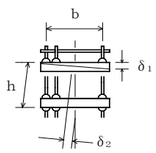
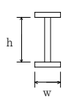
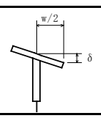
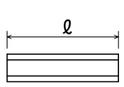
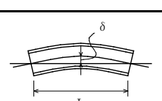
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
	5		鋼製伸縮装置継手製作工	製品全数を測定。		部材	部材長w(m)	0～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				両端及び中央部付近を測定		仮組立時	組み合わせる伸縮装置との高さの差δ1(mm)	設計値 ±4	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					（実測値） δ2		フィンガーの食い違いδ2(mm)	±2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		落橋防止装置製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7		橋梁用防護柵製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	8		アンカーフレーム製作工	軸心上全数測定。		仮組立時	上面水平度δ1(mm)	b/500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							鉛直度δ2(mm)	h/500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							高さh(mm)	±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	9		プレビーム用桁製作工	各支点及び各支間中央付近を測定	 I 型鋼げた	部材	フランジ幅w(m) 腹板高　h(m)	±2・・・・・・・w≦0.5 ±3・・・・・・・0.5＜w≦1.0 ±4・・・・・・・1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)・・2.0＜w	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各支点及び各支間中央付近を測定			フランジの直角度δ(mm)	w/200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。			部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各主桁について、10～12m間隔を測定。		仮組立時	主桁のそり　δ(mm)	−5～+5・・・・・・・・L≦20 −5～+10・・・・・・・・・・・・20＜L≦40	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	10		鋼製配水管製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
節	条	枝番														
	11		工場塗装工	外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了後に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは、500m2とする。 1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均点をその点の測定値とする。			塗装厚	a、ロット塗装厚の平均値は、目標塗装厚合計値の90%以上。 b、測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c、測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形）　チェックシート

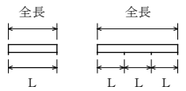
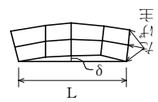
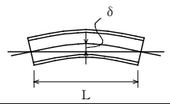
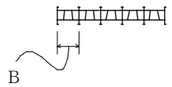
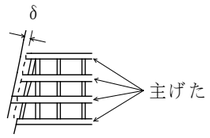
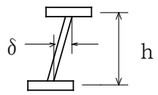
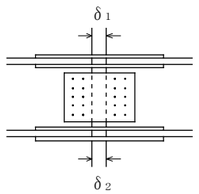
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
13 橋梁架設工	1		架設工（鋼橋）（クレーン架設）（ケーブルクレーン架設）（ケーブルエレクション架設）（架設桁架設）（送出し架設）（トラベラークレーン架設）	各桁毎に全数測定。 L：主桁・主構の支間長(m)		全長・支間長L(m)	±(20+L/5)	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				L：主桁・主構の支間長(m)		通　りδ(mm)	±(10+2L/5)	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主桁、主構を全数測定。 L：主桁・主構の支間長(m)		そ　りδ(mm)	±(25+L/2)	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各支点及び各支間中央付近を測定。		※主桁、主構の中心間距離B(m)	±4…B≦2 ±(3+B/2)…B＞2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		※主桁の橋端における出入差 δ（mm）	設計値 ±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各主桁の両端部を測定。 h：主桁・主構の高さ(mm)		※主桁、主構の鉛直度 δ（mm）	3+h/1,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主桁、主構の全継手数の1／2を測定。 δ_1, δ_2のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナスを認めない。		※現場継手部のすき間 δ_1, δ_2(mm)	設計値 ±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	※は仮組立検査を実施しない工事に適用
				※規格値のL，Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主桁、主構の鉛直度δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。											

施工プロセス検査（出来形）　チェックシート

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
13 橋梁架設工	1		架設工（コンクリート橋） （クレーン架設） （架設桁架設） 架設工支保工 （固定） （移動） 架設桁架設 （片持架設） （押出し架設）	各桁毎に全数測定。		全　長・支　間		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。		桁の中心間距離		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				主桁を全数測定。		そ　　り		—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
14 法面工 共通	2	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工） （植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所		切土法長ℓ	ℓ＜5m	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ℓ≧5m	法長の−4％	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所		法長ℓ	ℓ＜5m	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ℓ≧5m	法長の−4％	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				施工面積200m2につき1箇所、面積200m2以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 検査孔により測定。		厚さt	t＜5cm	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							t≧5cm	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。									
				1施工箇所毎		延長　L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形）　チェックシート

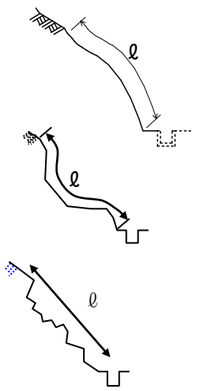
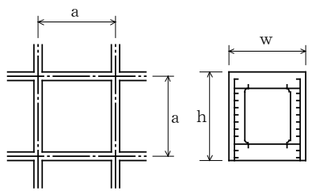
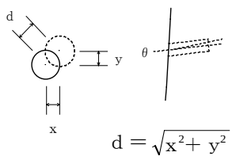
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
14 法面工 共通	3		吹付工（コンクリート）（モルタル）	施工延長40mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。		法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ℓ≧3m	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		厚さ t	t＜5cm	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							t≧5cm	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	4	1	法枠工（現場打法枠工）（現場吹付法枠工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ	ℓ＜10m	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ℓ≧10m	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				枠延延長100mにつき1箇所、枠延延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　w		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						枠中心間隔a		±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎	曲線部は設計図書による	延　長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	法枠工（プレキャスト法枠工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ	ℓ＜10m	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ℓ≧10m	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		アンカー工	全数（任意仮設は除く）		削孔深さ ℓ		設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						配置誤差　d		100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						せん孔方向　θ		±2.5度	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

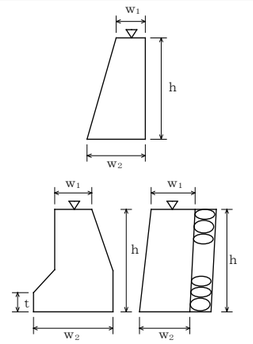
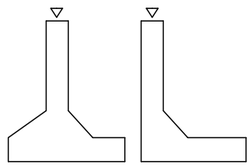
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
15 擁壁工 共通	1		（一般事項）場所打擁壁工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						裏込厚さ		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w_1, w_2		−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h	h＜3m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							h≧3m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1施工箇所毎		延長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	2		プレキャスト擁壁工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				1施工箇所毎		延長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

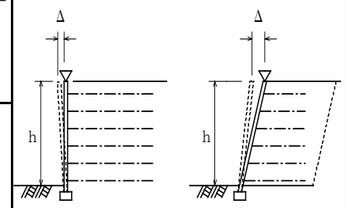
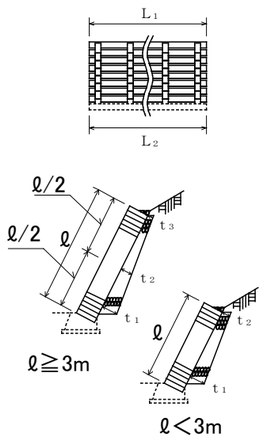
（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
15 擁壁工 共通	3		補強土壁工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽		±50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さh	h＜3m	−50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							h≧3m	−100	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						鉛直度Δ		±0.03hかつ±300以内								
						控え長さ		設計値以上								
				1施工箇所毎		延 長 L		−200	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
	4		井桁ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽		±50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						法長ℓ	高さh＜3m	−50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							高さh≧3m	−100	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚さt_1，t_2，t_3		−50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				1施工箇所毎		延 長 L_1，L_2		−200	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

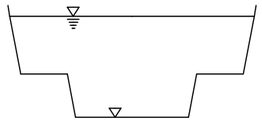
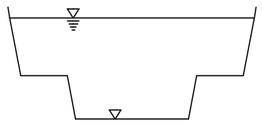
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値 上限	規格値 下限	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
16 浚渫工 共通	3	1	浚渫船運転工（ポンプ浚渫船）	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。							／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						基準高▽	電気船	200ps	+200	−800	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								500ps	+200	−1000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								1,000ps	+200	−1200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							ディーゼル船	250ps	+200	−800	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								420ps 600ps	+200	−1000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								1,350ps	+200	−1200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅			−200		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長			−200		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	浚渫船運転工（グラブ船）	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		基 準 高 ▽			上限＋200		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅			ー200		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長			ー200		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
18 床版工	1		床版・横組工	基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3箇所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1箇所測定。（床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）	基 準 高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					幅　　w	0～＋30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					厚　　さ t	－10～＋20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1径間当たり3断面（両端及び中央）測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1箇所とする。	鉄筋のかぶり	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					鉄筋の有効高さ	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1径間当たり3箇所（両端及び中央）測定。 1箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。	鉄 筋 間 隔	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
					上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

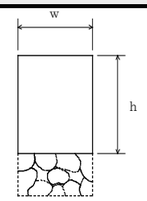
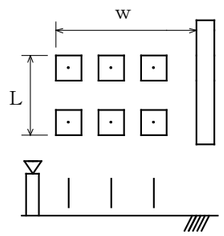
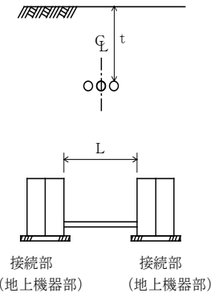
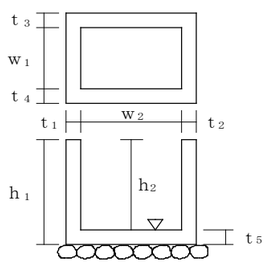
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編：築堤護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
7 法覆護岸工	4		護岸付属物	各格子間の中央部1箇所を測定。		幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ　h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
8 水制工	8		杭出し水制工	1組毎		基 準 高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						方　向	±7°	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
13 光ケーブル配管工	3		配管工	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		埋 設 深 t	0～+50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	4		ハンドホール工	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※厚さ t1～t5	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※幅 w1,w2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※高さ h1,h2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

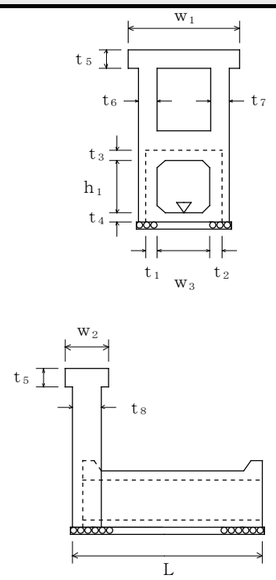
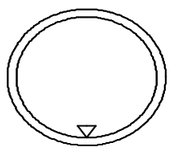
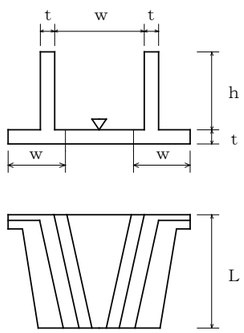
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編：樋門・樋管】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工（本体工）	柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所で測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t1～t8	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w1，w2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内空幅　w3	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						内空高　h1	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6	2	函渠工 （ヒューム管） （PC管） （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7・8		翼壁工、水叩工	図面の寸法表示箇所で測定。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編：水門】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
6 水門本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

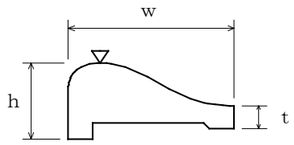
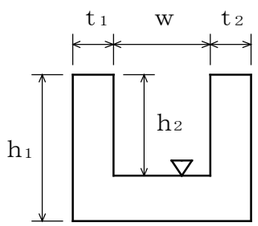
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編：堰】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							指摘事項
6 可動堰本体工	13・14		閘門工、土砂吐工	図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w		−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
7 固定堰本体工	8・9・10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w		−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						堰長 L	L＜20m	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							L≧20m	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
8 魚道工	3		魚道本体工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお、製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による）		基準高 ▽		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t1, t2		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w		−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h1, h2		−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延長 L		−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

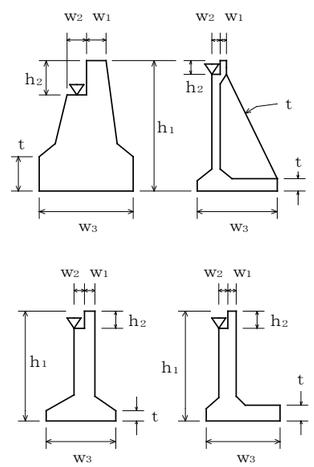
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編:堰】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							指摘事項
9 管理橋下部工	2		管理橋橋台工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端幅 w1（橋軸方向）	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端幅 w2（橋軸方向）	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						敷　幅 w3（橋軸方向）	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h1	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						胸壁の高さ h2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端長 L1	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						敷　長 L2	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						胸壁間距離 L	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						支点長及び中心線の変化	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

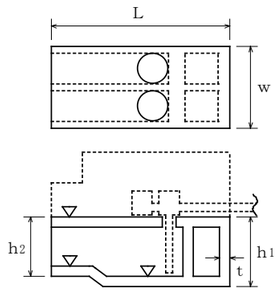
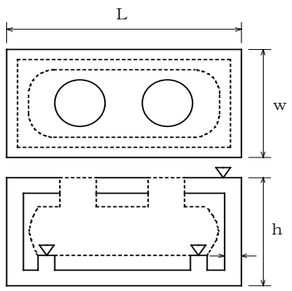
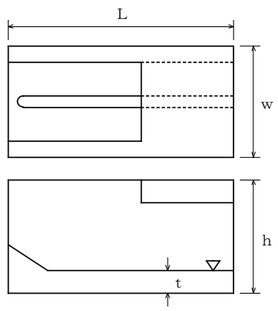
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編:排水機場】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 機場本体工	6		本体工	図面の表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h1, h2	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7		燃料貯油槽工	図面の表示箇所で測定。 ・		基準高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7		コンクリート床版工	図面の表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

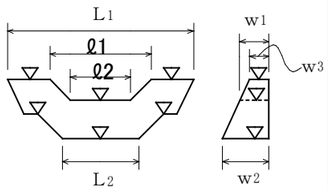
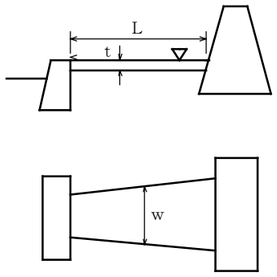
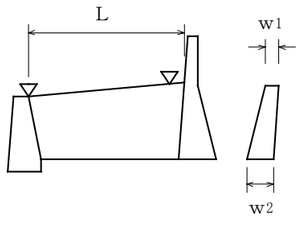
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川編:床止め・床固め】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 床止め工	6		本体工（床固め本体工）	図面に表示してある箇所で測定。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 幅 w1	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　幅 w2	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤 長 L1, L2	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						水通し幅 ℓ1, ℓ2	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	8		水叩工	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。厚さは目地及びその中間点で測定。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　　さ t	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　　w	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　　長 L	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
5 床固め工	6		側壁工	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 幅 w1	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　幅 w2	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長　　さ L	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

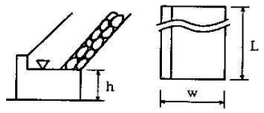
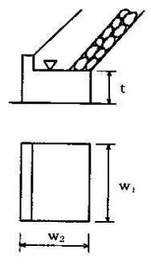
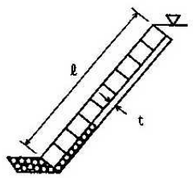
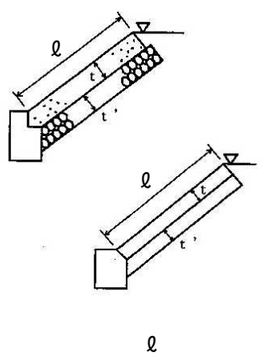
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編：堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
5 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						幅 w		−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						高 さ h		−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						延 長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
	6		海岸コンクリートブロック工	ブロック個数40個につき1箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						ブロック厚 t		−20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						ブロック縦幅w_1		−20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						ブロック横幅w_2		−20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						延 長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
6 護岸工	4		海岸コンクリートブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						法長ℓ	ℓ＜5m	−100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						法長ℓ	ℓ≧5m	L×（−2%）	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						厚 さ t		−50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						延 長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
	5		コンクリート被覆工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						法長ℓ	ℓ＜3m	−50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						法長ℓ	ℓ≧3m	−100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						厚さt	t＜100	−20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						厚さt	t≧100	−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						裏込材厚t’		−50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						延 長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

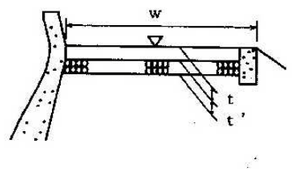
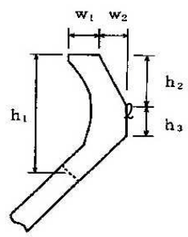
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所		基準高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t	−10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						基礎厚 t'	−45	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
9 波返工	3		波返工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w_1, w_2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h＜3m h1, h2, h3	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h≧3m h1, h2, h3	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

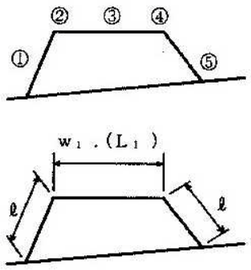
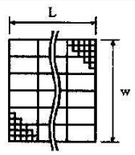
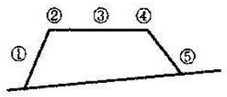
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 突堤基礎工	4		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	本　均　し	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							表　面　均　し	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							荒均し　異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							荒均し　異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							被覆均し　異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							被覆均し　異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端幅 w_1		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端延長 L_1		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
4 突堤基礎工	5		吸出し防止工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所			幅　w	−300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							延　長 L	−500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
5 突堤本体工	2		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端幅 w_1		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端延長 L_1		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

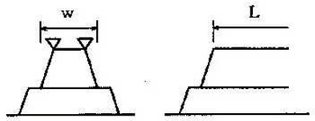
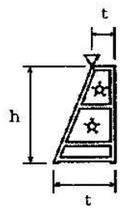
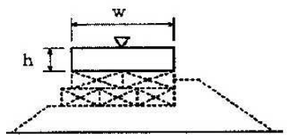
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。延長は、センターラインで行う。		基準高▽	（層積）ブロック規格26t未満	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							（層積）ブロック規格26t以上	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							（乱　積）	±ブロックの高さの1／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端幅 w		－ブロックの高さの1／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端延長L		－ブロックの高さの1／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	9		石砕工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さt		-50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さh	h＜3m	-50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							h≧3m	-100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延長L		-200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	10		場所打コンクリート工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w		-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h		-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長L		-200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

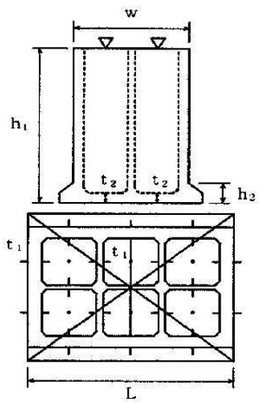
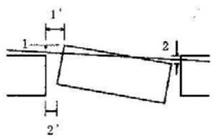
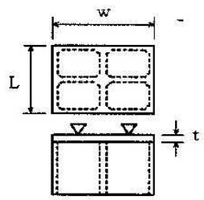
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）	備考
5 突堤本体工	11	1	ケーソン工（ケーソン工製作）	各室中央部1箇所		バラストの基準高▽ 砕石、砂	±100	／ □ ( )	
						バラストの基準高▽ コンクリート	±50	／ □ ( )	
				底版完成時、各壁1箇所		壁　厚　t_1	±10	／ □ ( )	
				各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		幅　w	＋30, －10	／ □ ( )	
				完成時、四隅		高　さ h_1	＋30, －10	／ □ ( )	
				各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		長　さ L	＋30, －10	／ □ ( )	
				底版完成時、各室中央部1箇所		底版厚さ　t_2	＋30, －10	／ □ ( )	
				底版完成時、四隅		フーチング高さh_2	＋30, －10	／ □ ( )	
		2	ケーソン工（ケーソン工据付）	据付完了後、両端2箇所		法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2000t未満 ±100	／ □ ( )	
							ケーソン重量 2000t以上 ±150	／ □ ( )	
				据付完了後、天端2箇所		据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量 2000t未満 100以下	／ □ ( )	
							ケーソン重量 2000t以上 200以下	／ □ ( )	
		3	ケーソン工（突堤上部工） 場所打コンクリート、海岸コンクリートブロック	1室につき1箇所（中心）		基準高▽ 陸　上	±30	／ □ ( )	
						基準高▽ 水　中	±50	／ □ ( )	
						厚　さ t	±30	／ □ ( )	
						幅　w	±30	／ □ ( )	
						長　さ L	±30	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

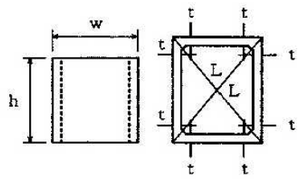
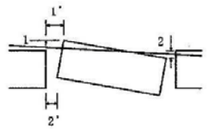
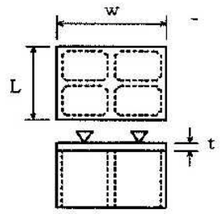
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 突堤本体工	12	1	セルラー工（セルラー工製作）	型枠取外し後全数		壁　厚 t		±10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅　w		＋20, －10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高　さ h		＋20, －10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長　さ L		＋20, －10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	セルラー工（セルラー工据付）	据付後ブロック1個に2箇所（各段毎）		法線に対する出入　1、2		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						隣接ブロックとの間隔　1'、2'		50以下	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		3	セルラー工（突堤上部工） 場所打コンクリート、海岸コンクリートブロック	1室につき1箇所（中心）		基準高▽	陸　上	±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							水　中	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚　さ t		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅　w		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長　さ L		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

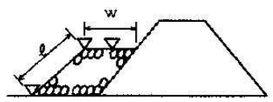
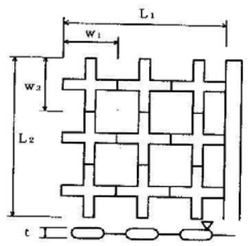
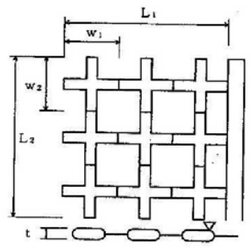
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 根固め工	2		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	異形ﾌﾞﾛｯｸ据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							異形ﾌﾞﾛｯｸ据付面(乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 幅 w		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 延 長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3		根固めブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　積	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							乱　積	±t／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅、厚さは40個につき1箇所測定		厚　さ t		−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅w_1 w2	層　積	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							乱　積	−t／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1施工箇所毎		延長L_1 L_2	層　積	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							乱　積	−t／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
7 消波工	3		消波ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　積	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							乱　積	±t／2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅、厚さは40個につき1箇所測定		厚　さ t		−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w_1, w_2		−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長　L_1, L_2		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

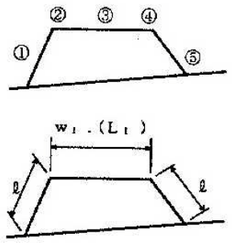
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【河川海岸編:海域堤防】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 海域堤基礎工	3		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	本　均　し		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							荒均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							被覆均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ			−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 幅 w_1			−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 延 長 L_1			−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

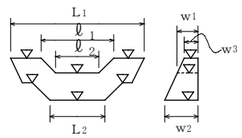
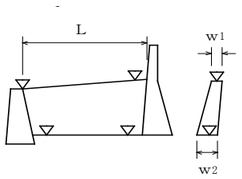
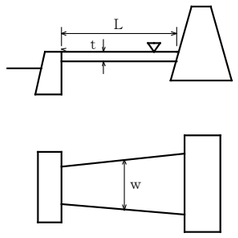
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		部材	部材長ℓ（m）	±3…… ℓ≦10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								±4…… ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	図面の表示箇所で測定。		基準高 ▽		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天端部 w1，w3 堤幅 w2		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						水通しの幅ℓ1，ℓ2		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤長 L1，L2		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		コンクリート側壁工	1．図面の寸法表示箇所を測定。 2．上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3．長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		基準高 ▽		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w1，w2		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長さ L		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	8		水叩工	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		基準高 ▽		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L		−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

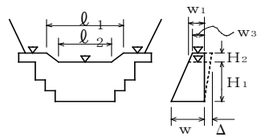
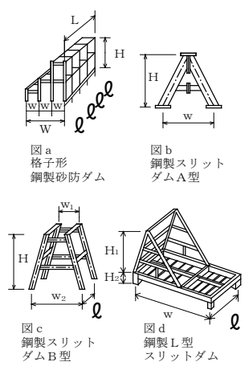
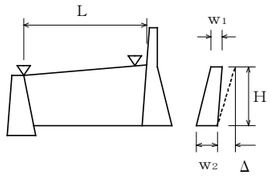
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工（不透過型）	1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。		水通し部	堤　高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							長　さℓ1，ℓ2	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							幅　w1，w3	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							下流側倒れ　Δ	±0.02H1	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						袖部	袖　高 ▽	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							幅　w2	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							下流側倒れ　Δ	±0.02H2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	5	2	鋼製堰堤本体工（透過型）	（備考） 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダム　A型 B：鋼製スリットダム　B型 L：鋼製スリットダム　L型		堤長L　格		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤長ℓ　格・B・L		±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤幅W　格		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤幅w　格・B・L		±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤幅w　A		±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さH　格・B・L		±10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さH　A		±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		鋼製側壁工	1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。		堤　高 ▽		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長　さ L		±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w1，w2		±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						下流側倒れ　Δ		±0.02H	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さh	h＜3m	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							h≧3m	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

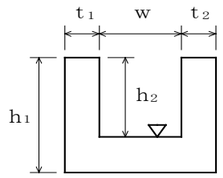
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【砂防編:流路】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 床固め工	8		魚道工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高 さ h1, h2	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚 さ t1, t2	-20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延 長 L	-200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

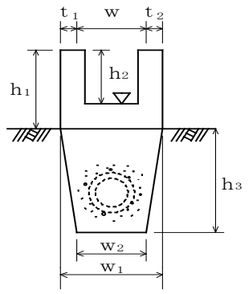
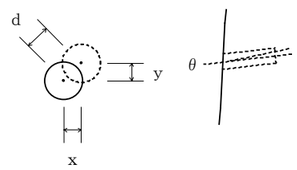
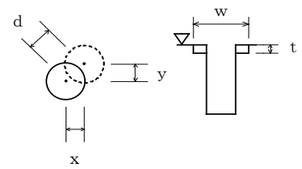
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【砂防編:斜面対策】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）		基 準 高 ▽	±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t1, t2	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w1, w2	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h1, h2	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						深 さ h3	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						延 長 L	−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	削 孔 深 さℓ	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						配 置 誤 差 d	100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						せん孔方向 θ	±2.5度	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5		集水井工	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	基 準 高 ▽	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏 心 量 d	150	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長 さ L	−100	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						巻 立 て 幅 w	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						巻立て厚さ t	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
9 抑止杭工	6		合成杭工	全数測定。		基 準 高 ▽	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						偏 心 量 d	D/4以内 かつ100以内	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

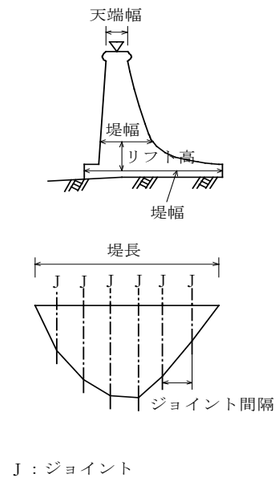
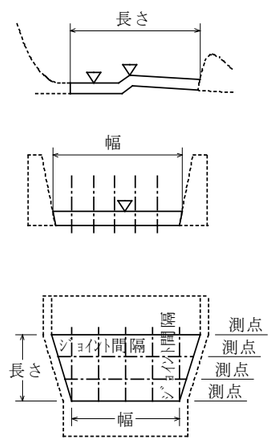
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編:コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（本体）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 （注）堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。（堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む） ③ジョイント間隔（横継目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、天端中心線延長を測定。 3. ①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 ②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。		天 端 高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						天 端 幅	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						ジョイント間隔	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						リ フ ト 高	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　幅	−30, +50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　長	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
			コンクリートダム工（水叩）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（敷高）、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。 ③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		天 端 高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						ジョイント間隔	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅	±40	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長　　さ	−100, +60	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

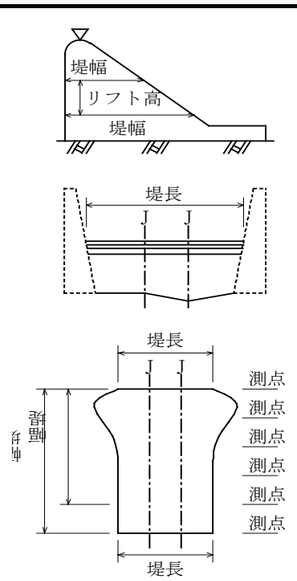
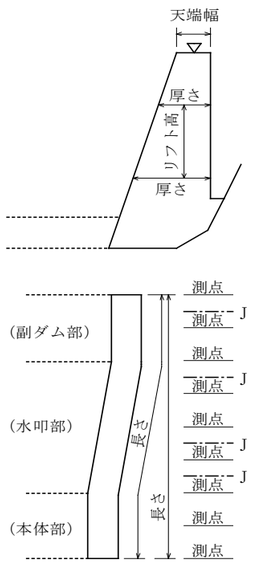
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編:コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（副ダム）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 （注）堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。（堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む） ③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。		天 端 高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						ジョイント間隔	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						リ フ ト 高	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　幅	−30, +50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						堤　　長	±40	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（導流壁）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 ②リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 （注）リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 ③長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		天 端 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						ジョイント間隔	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						リ フ ト 高	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長　　さ	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　　さ	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

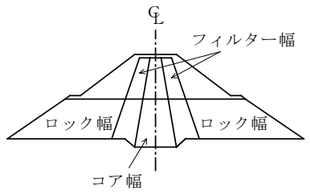
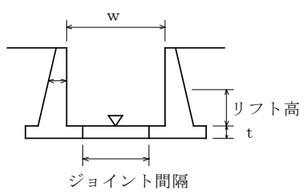
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編：フィルダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 盛立工	5		コアの盛立	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピングローラ）の場合		基 準 高 ▽	－0	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						外 側 境 界 線	－0，＋500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		フィルターの盛立	各測点について5層毎に測定。		基 準 高 ▽	－0	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						外 側 境 界 線	－0，＋1,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						盛　立　幅	－0，＋1,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	7		ロックの盛立	各測点について盛立5m毎に測定。		基 準 高 ▽	－100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						外 側 境 界 線	－0，＋2,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
			フィルダム （洪水吐）	1．図面の寸法表示箇所で測定。 2．1回／1施工箇所		基 準 高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						ジョイント間隔	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ t	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　　w	±40	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						リフト高さ	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長　さ L	±100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編:基礎グラウチング】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
3 ボーリング工			ボーリング工	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。		深　度 L	設計値以上	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	
						配 置 誤 差	100	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	／ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

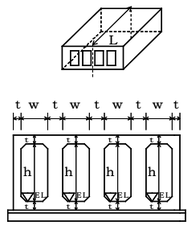
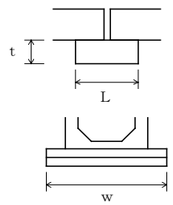
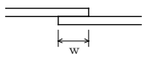
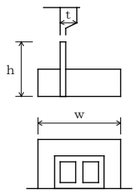
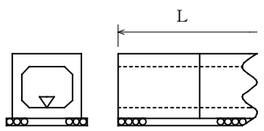
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
6 現場打構築工	2		現場打躯体工	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						内空幅 w	−30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						内空高 h	±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						ブロック長 L	−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	4		カラー継手工	図面の寸法表示箇所で測定。		厚さ t	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長さ L	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
	5	1	防水工（防水）	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版で測定。		幅 w	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		2	防水工（防水保護工）	両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。		厚さ t	設計値以上	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
		3	防水工（防水壁）	図面の寸法表示箇所で測定。		高さ h	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						幅 w	±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t	−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
7 プレキャスト構築工			プレキャスト躯体工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。		基準高 ▽	±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
				延長：1施工箇所毎		延長 L	−200	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

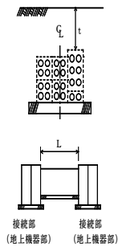
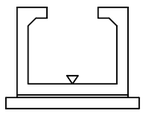
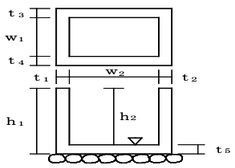
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:電線共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
5 電線共同溝工	2		管路工（管路部）	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		埋設深 t	0～+50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				接続部（地上機器部）間毎に全数。 【管路センターで測定】		延長 L	-200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	3		プレキャストボックス工（特殊部）	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
6 付帯設備工	2		ハンドホール工	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※厚さ　t1～t5	-20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※幅　w1, w2	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※高さ　h1, h2	-30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

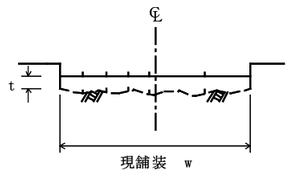
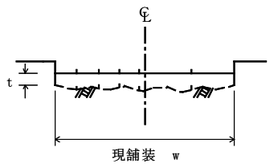
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:道路維持】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 平均の測定値（X10）	規格値 平均の測定値（X10）	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 舗装工	5		切削オーバーレイ工	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。	 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚　さ t	−9		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅　w	−25		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延　長 L	−100		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						平 坦 性	—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
4 舗装工	7		路上再生工	幅は延長80m毎に1箇所の割で測定。厚さは、各車線200m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。		路盤工 厚さ t	−30		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						路盤工 幅　w	−50		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						路盤工 延長 L	−100		／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

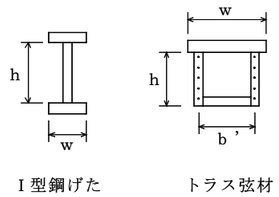
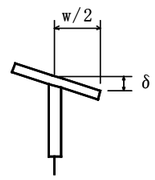
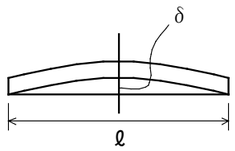
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：道路修繕】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準 鋼げた等	測定基準 トラス・アーチ等	測定箇所	測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 工場製作工	4		桁補強材製作工	主げた・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。		フランジ幅w（m） 腹板高 h（m） 腹板間隔b′（m）	±2…w≦0.5 ±3…0.5＜w≦1.0 ±4…1.0＜w≦2.0 ±（3＋w／2）…2.0＜w	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。											
				主げた	各支点及び各支間中央付近を測定。		フランジの直角度 δ（mm）	w／200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				—	主要部材全数を測定。ℓ：部材長（mm）		圧縮材の曲がり δ（mm）	ℓ／1,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

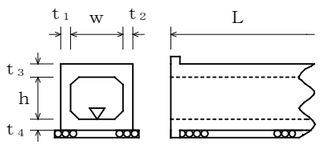
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：道路改良】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		部材	部材長ℓ（m）	±3…ℓ≦10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								±4…ℓ＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
9 カルバート工	6		場所打函渠工	両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t1～t4		−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅（内法） w		−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L	L＜20m	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
							L≧20m	−100	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
11 落石雪害防止工	4		落石防止網	1施工箇所毎		幅 w		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	5		落石防止柵	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		高さ h		±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L		−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

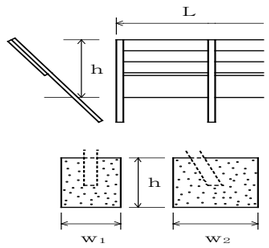
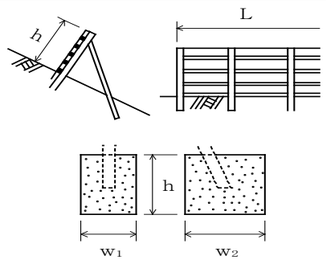
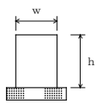
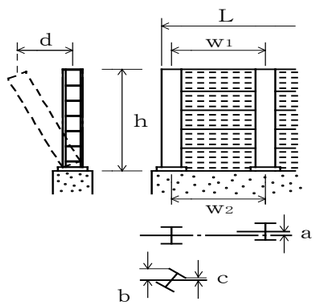
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：道路改良】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
11 落石雪害防止工	6		防雪柵工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高　さ h		±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
									／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				基礎1基毎		基礎	幅　w1，w2	−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						基礎	高　さ h	−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
	7		雪崩予防柵工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高　さ h		±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
									／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				基礎1基毎		基礎	幅　w1，w2	−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						基礎	高　さ h	−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				全数		アンカー長ℓ	打 込 み ℓ	−10%	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						アンカー長ℓ	埋 込 み ℓ	−5%	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
12 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　w		−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						高　さ h		−30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
	5		遮音壁本体工	施工延長5スパンにつき1箇所		支柱	間隔　w1，w2	±15	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
							ず　れ a	10	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
							ねじれ b−c	5	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
							倒　れ d	h×0.5%	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
						高　さ h		＋30，－20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
4 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高は片側延長40m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。 ※両端部2点で測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	基準高▽		±50	―	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚さ	t＜15cm	−30	−10	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚さ	t≧15cm	−45	−15	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅		−100	―	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測定。厚さは、片側延長200m毎に1箇所コアーを採取して測定。		厚　さ		−9	−3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅		−25	―	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

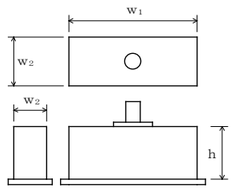
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
５ 排水構造物工	9		排水性舗装用路肩排水工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1箇所／1施工箇所		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
７ 踏掛版工	4		踏掛版工（コンクリート工）（ラバーシュー）（アンカーボルト）	1箇所／1踏掛版		基準高	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1箇所／1踏掛版		各部の厚さ	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				1箇所／1踏掛版		各部の長さ	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全数		各部の長さ	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚　さ	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全数		中心のずれ	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全数		アンカー長	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
９ 標識工	4	1	大型標識工（標識基礎工）	基礎一基毎		幅　w1, w2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

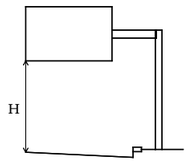
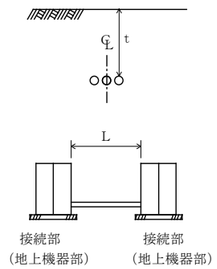
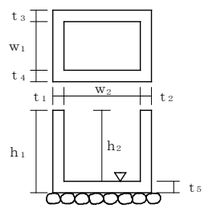
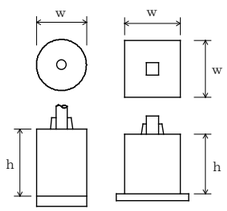
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
9 標識工	4	2	大型標識工（標識柱工）	1箇所／1基		設置高さ　H	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
12 道路付属施設工	5	1	ケーブル配管工	接続部間毎に1箇所		埋 設 深 t	0～+50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				接続部間毎で全数		延　長 L	−200	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	ケーブル配管工（ハンドホール）	1箇所毎 ※印は、現場打ちのある場合		基 準 高 ▽	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※厚さ t1～t5	−20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※幅　w1, w2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						※高さ h1, h2	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	6		照明工（照明柱基礎工）	1箇所／1施工箇所		幅　　w	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高　さ h	−30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

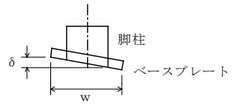
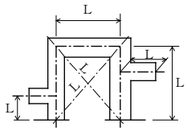
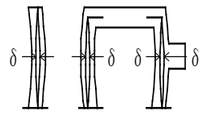
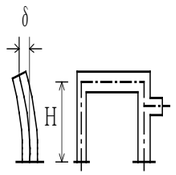
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	各脚柱、ベースプレートを測定。		部材	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ（mm）	w/500	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全数を測定。			ベースプレートの孔の位置	±2	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				全数を測定。			ベースプレートの孔の径d	0～5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				両端部及び片持ばり部を測定。		仮組立時	柱の中心間隔、対角長L（m）	±5…L≦10m ±10…10＜L≦20m ±(10＋(L－20)/10)…20m＜L	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各主構の各格点を測定。	 側面図　正面図		はりのキャンバー及び柱の曲がり δ（mm）	L/1,000	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
				各柱及び片持ばり部を測定。 H：高さ（m）	 側面図　正面図		柱の鉛直度 δ（mm）	10…H≦10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								H…H＞10	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

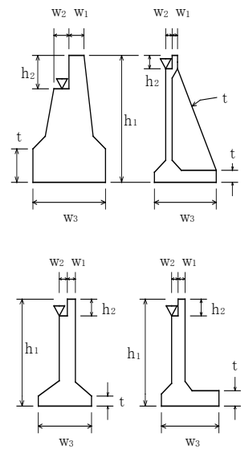
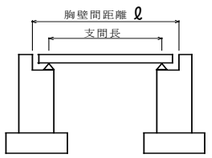
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
6 橋台工	8		橋台躯体工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽		±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚　さ t		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端幅 w1（橋軸方向）		-10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端幅 w2（橋軸方向）		-10	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						敷　幅 w3（橋軸方向）		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高　さ h1		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						胸壁の高さ h2		-30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端長 ℓ1		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						敷　長 ℓ2		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						胸壁間距離 ℓ		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支間長及び中心線の変位		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支承部アンカーボルトの箱抜き規格	計画高	＋10～－20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							平面位置	±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							アンカーボルト孔の鉛直度	1/50以下	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

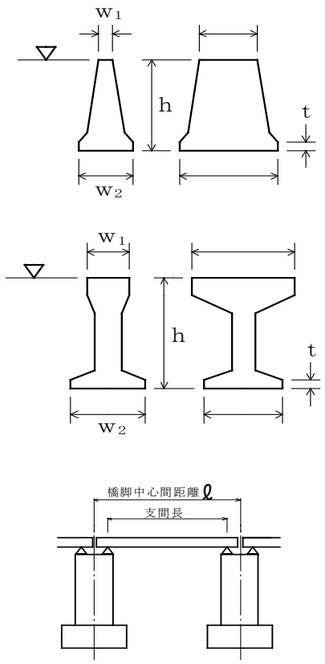
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工（張出式）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽		±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚さ t		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端幅 w1（橋軸方向）		−20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						敷幅 w2（橋軸方向）		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高さ h		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端長 ℓ1		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						敷長 ℓ2		−50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						橋脚中心間距離 ℓ		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支間長及び中心線の変位		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	計画高	＋10～－20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							平面位置	±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ孔の鉛直度	1/50以下	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

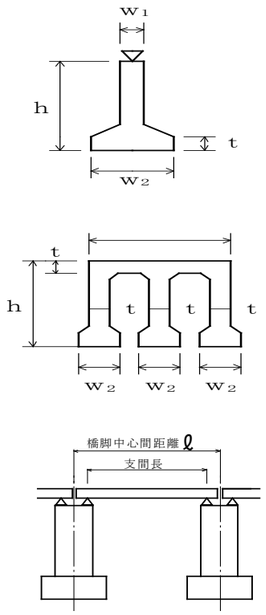
（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
５ＲＣ橋脚工	9	2	橋脚躯体工（ラーメン式）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽		±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						厚 さ t		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						天端幅 w1		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						敷 幅 w2		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						高 さ h		-50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						長 さ ℓ		-20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						橋脚中心間距離 ℓ		±30	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支間長及び中心線の変位		±50	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
						支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	計画高	＋10～－20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							平面位置	±20	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	
							ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ孔の鉛直度	1/50以下	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	／ □ ( )	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

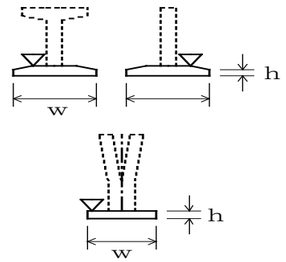
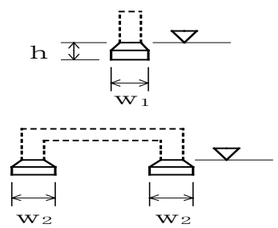
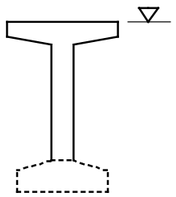
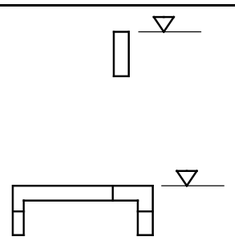
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工（I型・T型）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w（橋軸方向）	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						長さ ℓ	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	橋脚フーチング工（門型）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w1, w2	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さ h	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	10	1	橋脚架設工（I型・T型）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						橋脚中心間距離 ℓ	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						支間長及び中心線の変位	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
		2	橋脚架設工（門型）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						橋脚中心間距離 ℓ	±30	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						支間長及び中心線の変位	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	11		現場継手工	主桁、主構の全継手数の1／2を測定。 ※は耐候性鋼材（裸使用）の場合		現場継手部のすき間 δ_1, δ_2(mm)	5 ※±5	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

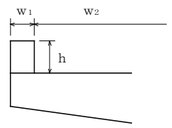
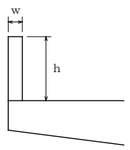
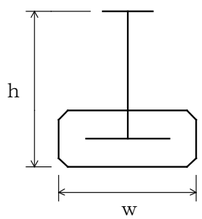
（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
３ 工場製作工	９		橋梁用高欄製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		部材	部材長ℓ（m）	±３…ℓ≦10 ±４…ℓ＞10	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
５ 共通的工種	１		地覆工	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		地覆の幅	w_1	－10～＋20	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						地覆の高さ	h	－10～＋20	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						有効幅員	w_2	0～＋30	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
	８	３	落橋防止装置工	全数測定		アンカーボルト孔の削孔長		設計値以上	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
				全数測定 D：アンカーボルト径（mm）		アンカーボルト定着長		－20以内 かつ －1D以内	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
	６ ７		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		幅	w	－5～＋10	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さ	h	-20～+30	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
	８		検査路工	1ブロックを抽出して測定。		幅		±3	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さ		±4	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
６ プレビーム桁橋工	２		プレビーム桁製作工（現場）	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ：スパン長		幅	w	±5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さ	h	10 -5	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						桁長 ℓ スパン長		ℓ＜15・・・±10 ℓ≧15・・・±（ℓ－5）かつ－30mm以内	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						横方向最大タワミ		0.8ℓ	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

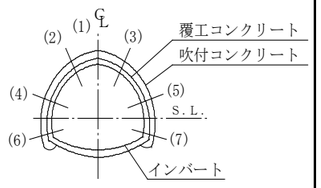
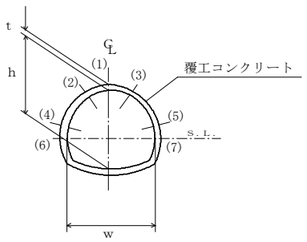
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値（検査値）							備考
4 支保工	3		吹付工	施工延長40m毎に図に示す。 (1)～(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注）良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準（構造編）にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。		吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1／3以上を確保するものとする。	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
								／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
	4		ロックボルト工	施工延長40m毎に断面全本数検測		位置間隔	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						角度	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						削孔深さ	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						孔径	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						突出量	プレート下面から10cm以内	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
5 覆工	3		覆工コンクリート工	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)～(3)は100mに1箇所の割合で行う。 　なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 　ただし、以下の場合には、右記の規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 　なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。		基準高（拱頂）	±50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						幅 w（全幅）	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						高さh（内法）	−50	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						厚さ t	設計値以上	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	
						延長 L	—	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	／ □ （　）	

施工プロセス検査（出来形） チェックシート

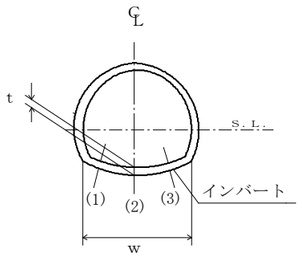
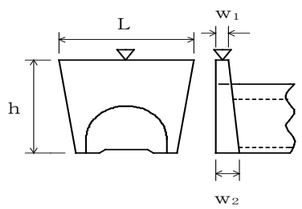
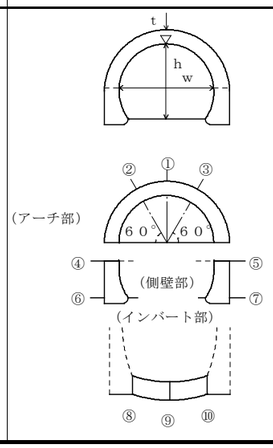
（期間： 年 月 日～ 年 月 日）

工事名：	対象箇所：

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	上段：日付・チェック欄、下段：測定表値（検査値）							備考
5 覆工	5		床版コンクリート工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅	w	-50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚	さ t	-30	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
6 インバート工	4		インバート本体工	(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。		幅 w（全幅）		-50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚さ t		設計値以上	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						延	長 L	—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
8 坑門工	4		坑門本体工	図面の主要寸法表示箇所で測定。		基 準 高 ▽		±50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅 w1，w2		-30	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さ h	h＜3m	-50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
							h≧3m	-100	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						延	長 L	-200	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
	5		明り巻工	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。		基準高（拱頂）		±50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						幅 w（全幅）		-50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						高さh（内法）		-50	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						厚	さ t	-20	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	
						延	長 L	—	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	／ □ （ ）	